

さいたま新都心ビジョンについて

さいたま新都心駅前の8-1A街区へのさいたま赤十字病院と県立岩槻小児医療センターの新築計画のほか、計画が進められている。

大宮カタクラゴルフセンターや立体駐車場一帯では、新たなショッピングセンターの計画がある(延床約30,300坪)。

また、その奥の住宅展示場にはソフトバンクモバイルのネットワークセンターの計画。

また、三菱マテリアル研究所跡地には、大宮警察署と池袋にある造幣局が造幣博物館とともに移転する計画が発表されている。人気の博物館として賑わい創出への期待が集まる。その他、防災機能のある公園エリアも整備計画の中で発表されている。

さいたま新都心は、にぎわいの街と安心安全の街という側面を持った街として、生まれ変わる。



小柳よしふみ 地域活動



夏は神輿だ！



自治会主催の防災設備品展示会



U-20女子W杯サッカー in 駒場



アートフェスティバル 浦和2012



本太地下道の整備



三世代カフェ (マッチングファンド事業)



平和通りの看板、清掃でリニューアル！



浦和鷺組合100周年 浦和若鷺会40周年

みなさんのご意見・ご要望をお待ちしています

お名前 _____ TEL _____

ご住所 _____

このままFAXでご送信下さい。FAX **048-799-3233**



「後援会イベントでハイ、チーズ！」

市政へのご要望・ご質問は

小柳よしふみ 事務所

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F

TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233

E-mail info@koyanagi.jp

ホームページ http://koyanagi.jp/

ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/



こやなぎ

小柳よしふみ

小柳よしふみ

検索

市政レポート
2012.11 vol.6小柳よしふみ 事務所 〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233
E-mail info@koyanagi.jp ホームページ http://koyanagi.jp/ ブログ http://ameblo.jp/y-koyanagi/

平成23年度決算

異例の

いまだ審査未了

さいたま市は今、大きく揺れています。都市局南部都市・公園管理事務所の不適切な事務処理に端を発した事案です。報道などでもご覧になっている方も多いかと思います。

その後、全庁的な検査が行われ、他の部局でも同様の処理が行われていた事が分かりました。平成23年度の決算にもかかわるので、9月定例会では決算議案の認定も見送られ、継続審査中です。これは全国でも非常にまれな事態です。現在、議会における事務処理等適正化特別委員会での調査が行われており、また、第三者検証委員会により調査・検証が行われます。その結論を待っての議論となります。

また、この件でのもうひとつの大きな問題点は、市民からの情報公開に虚偽の回答もしていた、という点です。これは信頼関係を根本から崩壊させることになります。こうしたことの再発防止の検証も不可欠です。そんな中、各局からの予算要望も始まっており、来年度予算編成作業が進められています。一日も早い信頼回復のため、議会の役割も大きいものとなります。

また、ノーマライゼーション条例の制定後、遅れていた各駅へのエレベータ設置計画が進行中です。北浦和駅改札外の工事、南浦和駅では改札外エレベータの設計も進められます。浦和駅では駅ビルの新築に伴い、バス乗り場に直結する中ノ島地下道が建設されます。ご高齢の方や障害をお持ちの方、ベビーカーをご利用の方にとっても便利になると思います。

これからも、市の施策が市民生活の向上に直結するよう、しっかりと議論を進めてまいります。

11/28 開会
12月定例会

一般質問に登壇します！

さいたま市議会Webでインターネット中継されます。

- 昭和40年(1965年)8月27日生まれ A型
- 浦和市立高砂小、岸中、県立浦和高、慶應義塾大学商学部卒業。
- 埼玉銀行を経て、警備会社を経営。平成23年5月よりさいたま市議会議員(浦和区)。
- 市民生活委員会、決算・行政評価特別委員会所属。



毎月第3日曜16時から浦和駅西口駅頭でお伝えしています。

さいたま市TOPICS

不適切な事務処理問題

都市局南部都市・公園管理事務所に端を発した問題。庁内の調査委員会の調査によると、他部局でも発覚。昨年度事業のため、平成23年度決算審査が未だ完了せず。議会においても特別委員会において調査を継続中。第三者による調査委員会も設置され、今後の改善策の検討にも入る(関連記事は中面)。

学校通学路の総点検

埼玉県警の協力の下、8月中に全小学校の通学路において、安全確認のための総点検を実施。その結果、63校・158カ所について、路側帯のカラー舗装や路面標示などの通学路緊急安全対策工事に1億円の補正予算を決定。

県庁通り整備の推進

県庁通り歩道の凸凹の修繕や植樹帯の撤去による歩行空間の整備。また、国道17号から埼玉会館手前までの区間で自転車レーンを設置。その他、横断防止柵や緑地の整備も実施予定。

浦和駅西口中ノ島地下道実現へ

計画されている駅前ビルの整備と一体での構築が有効との報告。今後、JRとの基本協定や実施設計に入る。バス乗り場へのアクセスが格段に良くなる。

北浦和駅改札外エレベータ整備

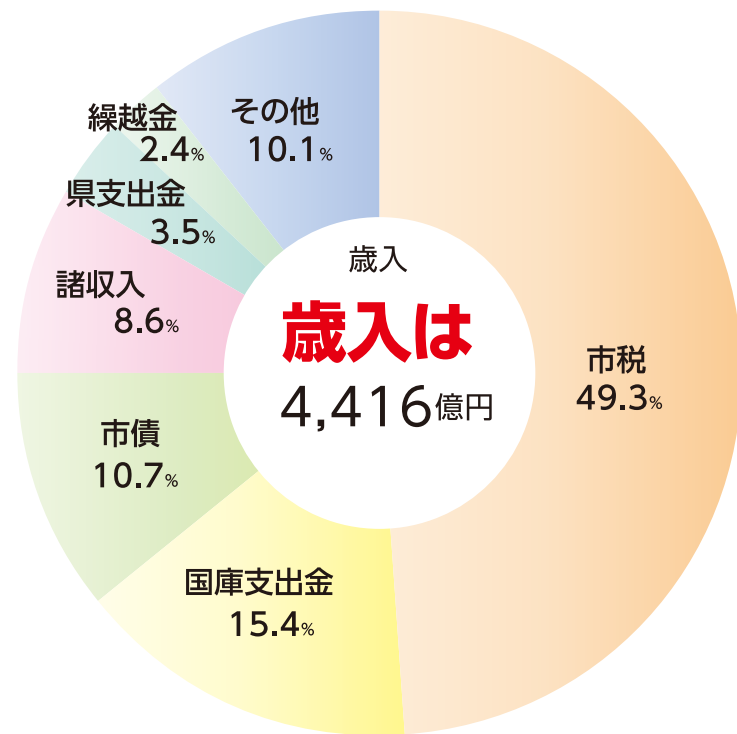
現在、計画が進められている東口は、年内着工、来年3月完成予定。西口に関しては、準備工事なども含めて、来年度に着工、年度内に完成の予定。



さいたま市平成23年度決算報告

決算のポイント

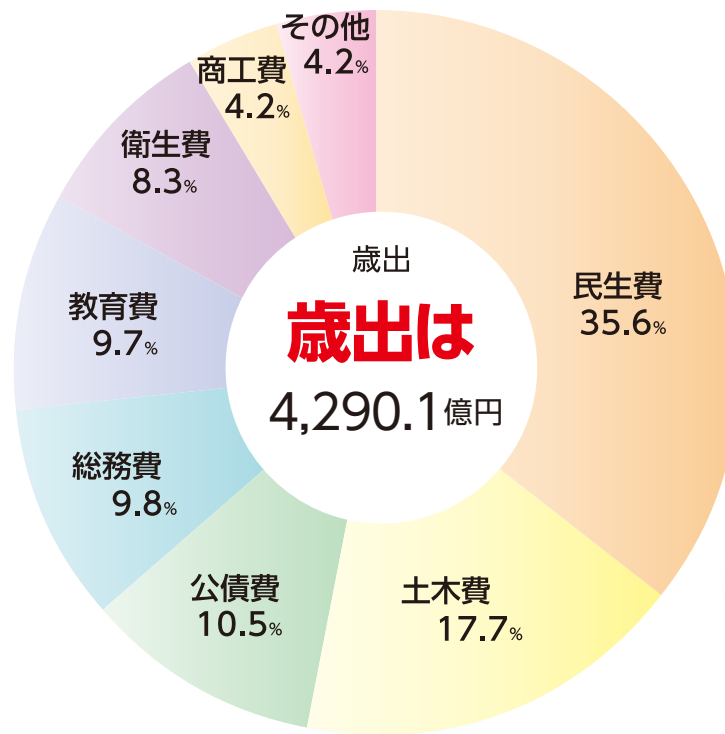
- ・歳入に占める市税の割合は前年度に引き続き50％を割り込む。
- ・地方交付税として26億4000万円の交付を受ける。
- ・市債は前年度より70億円・13％の減額の結果、70億8500万円を発行。
- ・単年度収支15億9500万の黒字。実質収支も65億3200万の黒字。



小柳の注目点

- ✓ 生活保護費の増大などにより、民生費が前年度比7％も増加している。
- ✓ 「文教都市さいたま」であり続けるために、市内一斉テスト結果の活用や学校用教材の充実が必要ではないか。
- ✓ 各区の特色あるまちづくりのために、まちづくり事業経費の増額が必要。
- ✓ 公共調達や修繕、業務委託における入札制度については更なる透明性の確保と外部監査機能の向上を。

昨年度に続き、歳入に占める市税の割合が50％を割り込んでいます。スポーツ関連イベントの誘致や観光事業の推進等を通じた、市内経済の活性化や現役世代の人口増のための施策の推進により、市税収入をしっかりと確保することが重要と考えます。



民生費	福祉サービスなどの充実を図るために使われる費用
土木費	道路や公園、下水道・河川などに使われる費用
総務費	市政の運営や選挙費・統計調査費などに使われる費用
公債費	借入金の返済などに使われる費用
教育費	学校教育や社会教育・体育施設などに使われる費用
衛生費	ごみ・汚物処理や健康対策などに使われる費用
商工費	産業、地域の発展・宣伝などに使われる費用
消防費	防災や消火活動・救急救命などに使われる費用

不適切な事務処理問題について

工事の発注業務において、不適切な処理が行われていた。昨年度から今年度への継続事業に関して、必要な手続きが行われなかった事案が5局で195件との報告があった。その他、見積書など書類の不備や発注方法に関しても指摘がされている。この件に関して、庁内での調査の他、議会においても地方自治法98条に基づく調査や、特別委員会による調査も行われた。今後は、より調査権の強い地方自治法100条による調査も行われることになった。また、専門家からなる第三者委員会による調査・検証作業も進められる。最終結論は、12月議会まで持ち越しとなり、その影響で、平成23年度決算の審査が未了の状況となっている。

生命尊重教育について

Q: 本年から全校実施されている生命尊重授業であるが、紹介されている「いじめ24時間相談ダイヤル」に関して問題がある。いじめなどで悩んで電話した子供に対して、有料である旨のメッセージが最初に流れるのは、状況として良くない。無料化など改善を求める。

A: 問題の存在を十分に認識した。業者も含め、どのような改善策が可能であるのか検討に入りたい。



決算委員会から

宅配食事サービス事業

Q: 民間企業による同種の事業参入が進む中、本事業の実績は低下傾向にある。今一度、市民、民間企業、行政の役割を再整理し、地域のご高齢者にとって安心な生活環境のために最適な役割分担に事業を再構築するべきである。

A: 民間企業の参入の影響を受けているという認識はある。本事業の趣旨を今一度精査して、検討してまいりたい。

女子サッカーの振興に向けて

Q: U-20女子ワールドカップサッカー大会における駒場会場の盛況は、女子サッカー振興において喜ばしいことである。今後は、プレーできる場所の整備が課題となる。方針を問う。

A: 公共施設マネジメントプランの観点をふまえて、プレー可能な施設の量を増やすだけでなく、多様な施設相互の柔軟な利用調整や、情報提供による創意工夫のために他部局とも連携をしていきたい。



市民生活委員会から

放射能に関する学校での対応

Q: 放射能の影響を心配する保護者への対応に関して、校長会などでの一律の指導では不十分な状況が見受けられる。保護者の不安が解消されない場合には、教育委員会がリードして不安の解消への努力をして欲しい。

A: 各学校への指導を徹底するとともに、必要があれば教育委員会が積極的に問題解決に取り組んでゆく。



さいたま市PRキャラクター「つなが竜ヌウ」と一緒にさいたま市を応援し、盛り上げていく「ヌウサポーターズクラブ」を創設しました。

会員大募集!

みなさんの独自のアイデアでさいたま市やヌウのPRを行っていただき、イベントに参加していただける方を大募集!!



ヌウサポーターズ

検索

ゆるキャラグランプリ2012

11月16日(金)まで投票できます!

ゆるキャラグランプリ

検索

在宅医療廃棄物の取扱いの適正化について

Q: 在宅で医療行為をされる方も増えている一方で、市のゴミ出しマニュアルには、記載がない。その在宅医療廃棄物の処理の仕方と市民への周知についての認識を問う。

A: 医療機関での回収やふたのできるプラスチック容器などで安全を確保し、燃えるゴミで対応することになっている。ゴミ出しマニュアルに記載するために、関係部署と協議に入っている。